

# 第10回 定時総会および講演会

日時：2019年6月21日（金）

場所：銀座貿易ビル6階（東京都中央区）

会員総数：84名（正会員：56名 賛助会員：28名）

会員数	出席数	委任状	議決権総数
正会員（議決権有）	19	27	46
賛助会員（議決権無）	10	—	—

## —ご来賓—

林野庁木材利用課 課長 長野 麻子 様 他4名

農林水産省食料産業局 食品製造課基準認証室 規格第2班 課長補佐 三重野 信 様 他1名

## —関係機関および報道各社—

(株)農経新報社、(株)日刊木材新聞社、オンサイト・レポート



## 会長挨拶



本日はお忙しい中、また遠路当協会の総会にお越しいただきありがとうございます。

また、日頃より様々なご支援、ご指導を賜っている林野庁、農水省他各方面の皆様におかれましてはこの場をお借りして深く御礼申し上げます。

SDG's や温暖化対策が叫ばれる中、ペレットの業界でもその一役を担うべく日々活動を行ってまいりました。ただ業界においては、国産ペレットの生産規模は年 12 万トンからは大きく伸びず平行な状態を保っておりますが、発電用の燃料としていくつかのペレット工場が立ち上がり、昨年度は 15 万トン規模に達した模様です。一方海外輸入ペレットは、主に発電用ですが昨年 2018 年度では 100 万トンを超え、毎年倍増の勢いです。

当協会では、国産ペレットの需要を図るべく勉強会や研修会等を行って啓発普及活動を行っていますが、海外の輸入ペレットに押されているのが現状です。

そんな中で当協会では、ペレットの品質規格の浸透に努め、優良ペレットがより多く使われ、ユーザーや燃焼機器にとって安心して使っていただける環境づくりに努めました。特に当協会では、ペレットの品質規格を国家規格すなわち JAS 化への実現に取り組んでまいりました、その内容はグローバル化の動きの中でやはり ISO を基準とした品質規格の作成であります。当協会にて、学識経験者を始めとするペレット及び燃焼機器等の各界関係者による JAS 化検討委員会を設置し、規格原案を作成しました。ペレット工場からの意見聴取も行い、そして認証方法が固まってくれば具体的な JAS 規格として近々実現されていくものと期待しております。

まだまだ課題は山積しており、目標の達成には道半ばですが、ぜひ「ペレット社会」を構築していくべく一同力を合わせていく所存ですので、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

本日はありがとうございます。

2019 年 6 月 21 日

会長 岡本 利彦

## 来賓のご挨拶

林野庁木材利用課

課長 長野 麻子 様

激励のお言葉を頂戴いたしました。



## 議事内容



- 山田事務局長による  
**【第1号議案】2018年度事業報告  
 並びに収支決算の報告**
  - 中川監事による監査報告



**【第1号議案】は満場一致で承認されました。**

- 山田事務局長による  
**【第2号議案】定款の改定について説明**      **【第2号議案】は満場一致で承認されました。**
- 山田事務局長による  
**【第3号議案】役員の変更について説明**      **【第3号議案】は満場一致で承認されました。**

## 新役員の紹介



役職	氏名	備考
顧問	熊崎 実	筑波大学名誉教授
会長	岡本 利彦	株式会社トモエテクノ 代表取締役
副会長	後藤 英夫	株式会社イワクラ 代表取締役会長
〃	山本 俊一	矢崎エナジーシステム株式会社 執行役員
理事	青島 正人	二光エンジニアリング株式会社 代表取締役
〃	河野 章弘	都農ペレット工業株式会社 代表取締役
〃	小林 秀匡	株式会社御池鐵工所 専務取締役
〃	内藤 昌典	有限会社内藤鋼業 代表取締役
〃	中野 光	遠野興産株式会社 代表取締役
〃	中村 福太郎	豊臣工業株式会社 代表取締役
〃	山後 春信	株式会社さいかい産業 代表取締役
監事	竹内 祥晃	オリンピック工業株式会社 常務取締役
〃	中川 秀樹	三洋貿易株式会社 理事

- 山田事務局長による「2019年度事業計画及び収支予算書」の報告  
 以上総会は、滞りなく終了いたしました。



## 講演会

### 講演1 「木質バイオマスの木質ペレット利用について」



講師 農林水産省 林野庁林政部 木材利用課  
課長 長野 麻子 様

### 講演2 「木質バイオマス熱利用の諸問題」

講師 一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会  
副会長 加藤 鐵夫 様



### 講演3 「木質ペレットストーブに係る木質ペレットの品質規格について」



講師 日本ペレットストーブ工業会  
会長 竹平 政男 様

当日、来賓としてお越しいただいた吉田貴紘様<sup>※</sup>に『固体バイオ燃料国際規格化研究会』の設立趣旨について、急遽ご講演いただきました。※代表幹事

#### 【内容概略】

固体バイオ燃料の国際規格は、欧州で2005年にEN規格が策定された後、2014年にEN規格を原案にISO規格が策定された。

その一方で、我が国では、これら規格を参考にし、業界団体がそれぞれ

独自に規格を制定して、統一した基準やルールが整っていない状況にある。また、我が国は気候、樹種特性など、欧州とは事情が異なることから、ISO規格が必ずしも我が国の実情を反映しておらず、国際規格を策定するISO/TC238委員会に対して、我が国の状況を考慮した規格策定や修正を求めていく必要がある。そこで、ISO/TC238委員会へPメンバー資格で参画して、我が国が国際規格策定に主導的な役割を果たし、国際規格に沿ったルールで固体バイオ燃料が生産、取引、消費されることを目的として設立された。



# 懇親会

河野理事の司会にて、山本副会長のご挨拶で開会



長野課長の爽やかな乾杯のご発声



~~~~終始和やかな雰囲気の中で歓談~~~~



河野理事によるめで無事終了